

**東京都立小石川中等教育学校**

**年間授業計画**

教科:(芸術)科目:(美術)

美術Ⅰ

) 対象:(第4学年A組~D組)

使用教科書:「美術Ⅰ」文教出版

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
4月	(1) オリエンテーション 美術の授業の目的 授業の受け方  (2) 鑑賞1 教科書を利用した鑑賞	(1) オリエンテーション 「美術」の授業の目的 1. 「自分(他)を知る」 2. 「五感を鍛える」を理解し、授業を受ける心構えや姿勢を作る。  (2) 鑑賞 絵の見方や考え方を知る。また、それを自分の言葉で表現できる。	(1) 関心・意欲・態度 取り組みノートの記述  (2) 関心・意欲・態度 鑑賞の能力 取り組みワークシート	3
5月	(3) 鑑賞2 表現1 絵画 学校を描く ①透視図法を使用し た空間表現	(3) 透視図法を理解し、実際に技法を使って校内を描くことができる。 ①透視図法を理解する。	(3) ① 関心・意 欲・態度 鑑賞の能力 取り組み ワークシ ート	4
6月	②木炭を使った表現	②木炭の特性を生かした表現ができる。	(3) ② 関心・意 欲・態度 発想構想の 能力 創造的な技 能 鑑賞の能力 取り組み ワークシ ート 作品	4
7月	③鑑賞会	③自分と他との表現方法の違いに気づき、それによつて適切に表現し、伝えることができる。	(3) ③ 関心・意 欲・態度 鑑賞の能力 取り組み ワークシ ート	3

## 東京都立小石川中等教育学校

## 年間授業計画

教科:(芸術)科目:(美術)

美術Ⅰ

) 対象:(第4学年A組~D組)

使用教科書:「美術Ⅰ」文教出版

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 ・ 9 月	(4) 表現2映像 鑑賞3 MVの制作 ①素材集め	(4) 音楽を聴いて、膨らませたイメージを映像表現を使用して、MVをとして制作する。  ①曲を決定し、自分の抱いたイメージをどんな視点で映像表現するか構成をすることができる。 また、それを制作するための素材を集めてくる。	(4) ①② 関心・意 欲・態度 発想構想の 能力 創造的な技 能 鑑賞の能力 取り組み ワークシー ト 作品
10 月	②編集	②パソコンを利用して、素材を編集する。	5
11 月	③鑑賞  (5) 表現3絵画 鑑賞4 心の色で描く ①鑑賞 ②イカを描く	③自分と他との表現方法の違いに気づき、それをことばで適切に表現し、伝えることができる。  (5) 日本画や片岡鶴太郎の作品を鑑賞し、モデルから色を感じ取り、自分の色で表現することができる。 ①写生とは異なる表現について考える。 ②モデルを目の前に置き、よく観察することで、様々な色を見出し、自分の色を引き出し、制作する。	(4) ③ 関心・意 欲・態度 鑑賞の能力 取り組み ワークシー ト  (5) ①② 関心・意 欲・態度 発想構想の 能力 創造的な技 能 鑑賞の能力 取り組み ワークシー ト
12 月	(6) 表現4絵画 鑑賞5 行事週間のためのボ ス ター・パンフレット 原 画制作 ①アイディアスケッ チ  ②下絵の完成と転写	(6) 行事週間のためのポスター・パンフレット 原画制作 作品のコンセプトを考え、それに適した表現方法をこれまでに学んだことの中から適切に選択し表現することができる。  ①かたちとその配置によるイメージ効果を生かしてアイディアスケッチに取り組むことができる。 ②アイデアが固まってきたら、制作に必要なモチーフのデッサンを追加するなど、作品を充実させるために主体的、意欲的に課題に取り組むことができる。 決定したアイディアスケッチを本画の紙面に拡大して転写できる。	(6) ①② ③④ 関心・意 欲・態度 発想構想の 能力 創造的な技 能 鑑賞の能力 取り組み ワークシー ト 作品

**東京都立小石川中等教育学校**

**年間授業計画**

教科:(芸術)科目:(美術)

美術 I

) 対象:(第4学年 A組~D組)

使用教科書:「美術 I」文教出版

使用教材:

指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1月	③色彩・配色計画	③前期課程で学んだ、色相およびトーンのイメージ効果を生かした色彩・配色計画ができる。	3
2月	④彩色	④彩色の手順を考えて、効率的な彩色ができる。 溝引きやマスキングテープの使用など、彩色の技術を用いて、丁寧に美しく彩色できる。	4
3月	⑤作品の完成と感想 用紙の添付	⑤アクリルガッシュの絵の具の特性を生かし、重ね塗りで描写し、作品の密度を高めるなど、主体的、意欲的に制作に取り組むことができる。 作品のコンセプトや制作の感想を言葉で表現できる。	(6) ⑤ 関心・意 欲・態 度 鑑賞の能 力 取り組み ワークシ ート 3